

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道2号 松永道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県福山市神村町 至：広島県尾道市高須町	延長	7.1km		

事業概要
一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。

松永道路は、高規格幹線道路の「尾道・福山自動車道」並びに地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を担っており、「交通混雑の緩和」、「交通安全性の向上」、「都市間の連結と空港・港湾とのアクセス強化」を図ることを目的とした延長7.1kmの4車線の道路事業である。

S47年度事業化	S49年度都市計画決定	S52年度用地着手	S53年度工事着手
----------	-------------	-----------	-----------

全体事業費：約580億円 事業進捗率：94% 供用済延長：4.6km

計画交通量	50,600~57,100台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	5.4	基準年：平成20年	
	(残事業)	12.2		
総費用	(残事業)/事業全体 34/1,297億円		総便益	(残事業)/事業全体 413/6,942億円
	事業費：28/1,255億円 維持管理費：5.9/41億円		走行時間短縮便益	362/5,843億円
			走行経費減少便益	36/738億円
			交通事故減少便益	15/361億円

感度分析の結果 残事業について、感度分析を実施
 交通量変動：B/C=13.6（交通量+10%） B/C=10.9（交通量-10%）
 事業費変動：B/C=11.3（事業費+10%） B/C=13.3（事業費-10%）

事業の効果等
 ・円滑なモビリティの確保（渋滞損失時間の削減）
 ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成）
 他14項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
 松永道路は、交通混雑の解消、都市間の連結強化等に重要な役割を果たすことが期待されており、福山市をはじめとする関係6市1町の首長等で構成される備後地区建設促進協議会より、早期整備の要望を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 山陽自動車道、西瀬戸自動車道など広域交通網の要衝であるため、交通量の増大により慢性的な交通混雑並びに交通環境の悪化が生じている。

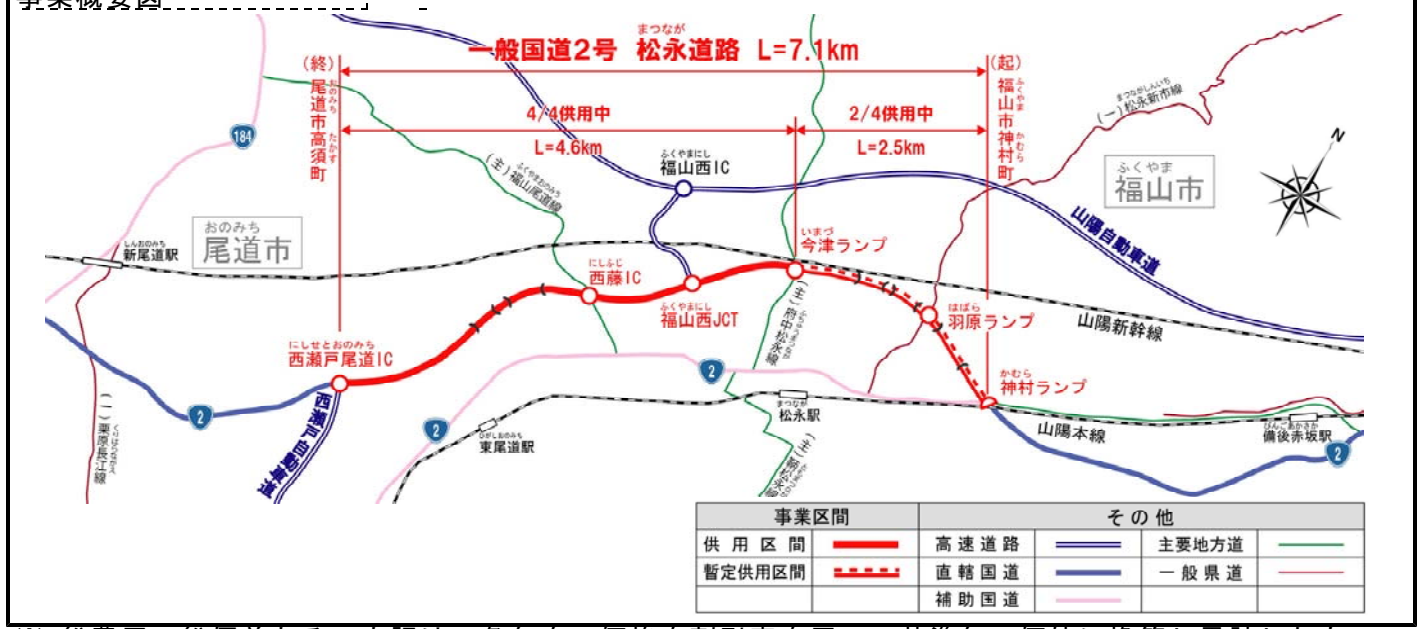
事業の進捗状況、残事業の内容等
 平成9年度までに用地買収を完了し、平成2年度までに全線暫定供用を行い、今津ランプから西瀬戸尾道ICまでの4.6kmが4車完成供用済み。
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、残る区間についても、早期全線供用を目指し、事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等
 上部工のPC箱桁の内・外ケーブル併用方式を採用することにより、工期短縮およびコスト縮減を図っている。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。